

「英国が警告：深刻なアレルギーを持つ人はファイザー製 COVID-19 ワクチン接種を避けよ」

2020年12月11日 更新 Cellspect Co., Ltd

英国が欧米で初となるコロナウイルスのワクチン接種を行った翌日、英国医薬品規制当局は、ファイザー/BioNTech社製 COVID-19 ワクチンの接種開始初日に2名の医療従事者が副作用を報告したため、深刻なアレルギー反応の既往がある人はワクチンを接種しないよう勧告した。[1]

英国では、12月8日に高齢者や医療従事者を対象に大規模なワクチン接種が始まった。これは、戦後における、国際協力の一環の中で最も大きな物流課題に対する挑戦の一つである。英国医薬品・医療製品規制庁 (Medicines and Healthcare Products Regulatory Agency : MHRA) によると、接種開始以来、アナフィラキシー発症報告が2件、アレルギー反応の可能性が1件あった。両者は重度のアレルギー既往症があり、アドレナリンオートインジェクター(エピペン等)を携行している。ワクチン接種後間もなく、両者はアナフィラキシー様症状または重度のアレルギー反応を発症したが、治療後既に回復したという。[2]

MHRA は「ワクチン、医薬品、または食品に対して重大なアレルギー反応を起こしたことがある人(アナフィラキシー様反応の既往歴やアドレナリンオートインジェクターの携行を勧められた患者など)は、ファイザー/BioNTech社製ワクチンの接種を受けるべきではない」と勧告した。[1、2]

アレルギー反応を引き起こした物質は、明らかになっていない。一部の他のワクチンに含まれ反応を引き起こすことが知られている防腐剤や卵由来の物質はファイザー/BioNTech社製ワクチンには含まれていない。2万人以上がこのワクチンの2回接種を受けた米国の臨床試験では、アレルギー反応は重大な問題とならなかったが、ファイザー社によると、重度のアレルギー反応の既往がある人は後期の臨床試験に含まれなかった。実際、臨床試験でアレルギー反応を報告したのは、ワクチンを投与された人のわずか0.63%、プラセボを投与された人の0.51%で、その一部は軽度であった。

ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院の薬剤疫学教授であるスティーブン・エバンス氏は、英国サイエンス・メディア・センターが行った記者会見で「アレルギー反応は非常に多くのワクチンでも起こり、薬物ではおそらくさらに頻繁に起こっている。予想外ではない」と指摘した。[2、3] 「MHRA がすでに忠告しているように、エピペン携行の必要がある深刻なアレルギー反応を持つ人は、アレルギー反応の原因が明確となるまで、ワクチン接種をしないほうが賢明と思われる」と述べた。[4]

さらに「これは、一般の人々にとって、予防接種に対して憂慮する必要がある、という意味ではない。マーマイト(英国の食品でパンなどに塗って食べる)のようなものでさえ、予期せぬ重度のアレルギー反応を引き起こす可能性があることを忘れてはならない」と、付け加えた。[4]

引用文献：

1. 9 Dec 2020. "U.K. warns people with 'significant' allergies to avoid Pfizer coronavirus vaccine" *Reuters global news*.
2. Yasemin Saplakoglu. 9 Dec 2020. "People with significant allergies should avoid Pfizer COVID-19 vaccine, UK warns" *LiveScience News Release*.
3. Emma Reynolds, Sharon Braithwaite and Amy Cassidy. 9 Dec 2020. "Allergy warning for Pfizer/BioNTech vaccine after UK health workers with allergy history suffer reaction" *CNN health news*.
4. Alistair Smout. 9 Dec 2020. "UK issues anaphylaxis warning on Pfizer vaccine after adverse reactions" *Reuters*.

当サイトの情報につきまして

細心の注意を払って現時点で最も正しいと考えられる情報をWebサイトに掲載しておりますが、その内容の正確性や安全性については保証するものではありません。また、当Webサイトをご利用になったことにより生じるいかなる損害について一切責任を負いません。当社は、予告なしに当Webサイトに掲載した情報を変更することがあります。また、Webサイトの運営を中断または中止することがあります。